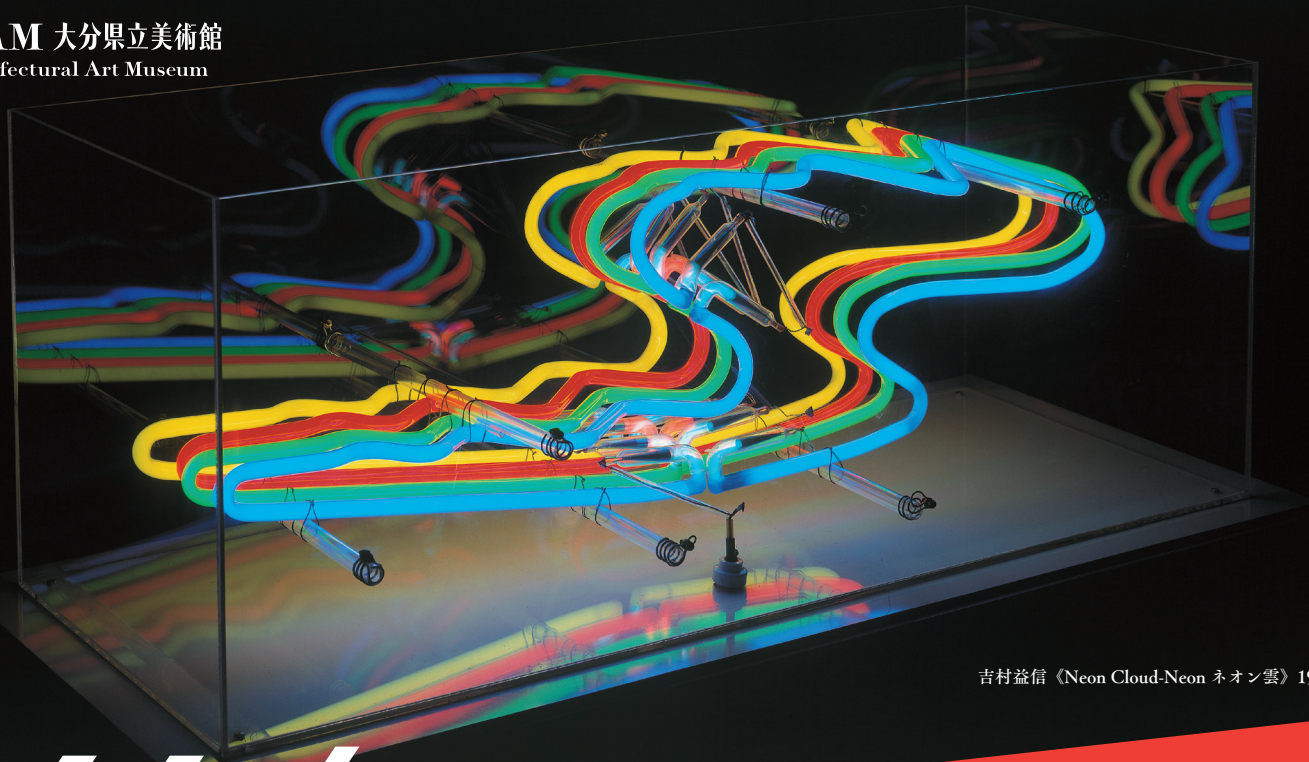




吉村益信《Neon Cloud-Neon ネオン雲》1966年

革新と 前衛の 美術

コレクション展Ⅳ

池田栄廣 生誕 120年・吉村益信 没後 10年

2021.12.24 [金]

ー 2022.2.14 [月]

前期 2021年12月24日(金) ~ 2022年1月18日(火)

後期 2022年1月20日(木) ~ 2022年2月14日(月)

※ 2022年1月19日(水)は展示替えのため休展

開館時間 10:00-19:00

※金曜日・土曜日は 20:00 まで ※入場は閉館の 30 分前まで

会場 大分県立美術館 3階 コレクション展示室



池田栄廣《染彩繪》部分 1954年

革新と前衛の美術

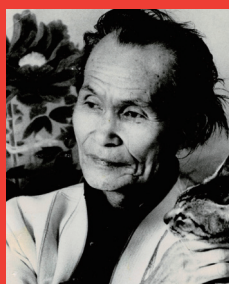
コレクション展Ⅳ

コレクション展Ⅳでは、県ゆかりの作家たちを中心に、既成の概念や形式に留まらず、革新的、前衛的な表現を目指した美術を紹介します。とりわけ、2021年に生誕120年を迎える日本画家・池田栄廣と、没後10年となる前衛芸術家・吉村益信に焦点を当てます。

[観覧料] 一般 / 300 (250) 円 大学生・高校生 / 200 (150) 円

※()内は有料入場 20名以上の団体料金 中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 びび KOTOBUKI 無料、TAKASAGO 無料、UME 団体料金 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※県内の小学・中学・高校生（これらに準ずる者を含む）とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者（1名）は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください ※開催中の企画展半券提示で1枚につき1回無料

池田栄廣 EIKO IKEDA [1901-1992]



池田栄廣は、呉市に生まれ、別府でタクシー運転手をしていましたが、堂本印象との出会いをきっかけに画家を志して京都に出ました。戦前から戦後にかけて、人物や動植物をユニークな視点で捉えた斬新な日本画を生み出しました。



池田栄廣《洋犬と初夏の園（仮題）》
1930年代頃



池田栄廣《孔雀》制作年不詳

今回は栄廣とともに、田口壮、高山辰雄、朝倉摂など、伝統の革新に果敢に挑んだ日本画家たちの動向にも注目します。

吉村益信 MASUNOBU YOSHIMURA [1932-2011]



吉村益信
《反物質：ライト・オン・メビウス》1968年

吉村益信は、1960年にネオ・ダダイズム・オルガナイザーズを結成し、アートシーンに鮮烈な印象を残した後、渡米を経て、ライトアート等ジャンルを横断した作品を発表し、その実験的精神を世に示しました。今回は所蔵品の他、資料を交えて、渡米から大阪万博に至る時代を中心に吉村の功績をご紹介します。



ギャラリートーク Gallery Talk

[吉村益信を中心に] 2021.12.26 [日] / 2022.1.16 [日]

[池田栄廣を中心に] 2022.1.9 [日] / 2.6 [日]

時間 各日 14:00-15:00

※予約不要・要観覧券
※ギャラリートークの予定は変更になる可能性があります。
最新情報は当館ホームページにてご確認ください。

同時開催

竹工芸特集展示

此君礼賛ーおおいた竹ものがたり vol.3

[テーマ]

網代編 (あじろあみ)

[Pick up アーティスト]

渡辺 竹清 (二代)

会場

3階 コレクション展示室

※コレクション展の観覧料でご覧いただけます。



OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

大分県立美術館 〒870-0036 大分市寿町2番1号

アクセス

JR 大分駅府内中央口《北口》から徒歩15分

ウェブサイト <http://www.opam.jp>

お問い合わせ TEL: 097-533-4500 FAX: 097-533-4567 E-mail: info@opam.jp

beyond
2020

開催中の
企画展

GENKYO 横尾忠則 原郷から幻境へ、そして現況は？
相田みつを全貌展 ～いのちの尊さ ことばのチカラ～
生命のれきしー君につながるものがたりー

2021年12月4日(土)～2022年1月23日(日) 会場:1階 展示室A
2021年11月26日(金)～2022年1月23日(日) 会場:3階 展示室B
2021年12月11日(土)～2022年1月31日(月) 会場:1階 アトリウム